

SDGsの17の目標は、一人一人が日々の生活を工夫することで前進します。頑張りすぎずに、まずはできることからひとつずつ。それだけで、世界はより良い方向へシフトしていきます。

あなたがお買い物から取り組める目標です

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナースhipで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。

オーガニックは
楽しい！

オーガニックの詳細については
コチラまで



[編集]
特定非営利活動法人
日本オーガニック&
ナチュラルフーズ協会



SDGs エスディールシーズ
×
Organic



わたしたちは
オーガニックを広げることで
SDGsに貢献します。

SDGs

(持続可能な開発目標)

Organic

いま世界中で取り組みが始まっているSDGs(持続可能な開発目標)は17の目標で構成されています。そのうちオーガニックで達成可能な目標は6項目です。

GOALS

2

飢餓を0に

オーガニックは、地域の気候風土を尊重し、生態系に最大限の配慮をしながら生産・加工します。これにより地域の風土に根差した食文化を維持し、モノカルチャー経済に起因する飢餓リスクを低減します。

GOALS

3

すべての人に健康と福祉を

オーガニックは、化学物質を極力避ける生産・加工の方法です。この結果、生態系の健全性が向上するので、すべての生物の健康と福祉に貢献することができます。

GOALS

6

安全な水とトイレを世界に

過剰な窒素肥料は土壌に浸みだし、地下水や海洋汚染の原因となります。オーガニックの畑や加工場からは、環境負荷の大きい化学物質や硝酸態窒素の排出が可能な限り抑えられています。これにより、河川や地下水、海洋の生態系を維持・保全することができます。



“日々のなかでオーガニックを選ぶことがよりよい未来につながります。少しでも、一つでも。”

GOALS

12

つくる責任 つかう責任

オーガニックの生産・加工は、自然循環機能を活用するので、資源やエネルギーをムダ使いしません。こうした情報が広く周知されることで、生産現場だけでなく、流通や小売り、消費に至る一連の行動がオーガニックの考え方に沿って変化していきます。

GOALS

13

気候変動に具体的な対策を

オーガニックの生産・加工の鍵は、「自然循環機能の活用」です。豆類の栽培による窒素固定、プラスチック類など使い捨て資材の低減、食品廃棄物の堆肥化など、様々な方法により生産・加工現場からの温室効果ガスの排出抑制を進めています。

GOALS

15

陸の豊かさも守ろう

化学肥料のみで栽培を行うと、土壌微生物が棲息できなくなり土壌劣化を招きます。オーガニックはそのような収奪型の生産方法とは逆に、土壌を豊かにします。オーガニックの畑は、一般的な農場に比べより多くの動植物が生息しているので、生物多様性の維持・保全に貢献します。

